



錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和7年4月30日（水）

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第2号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

「さわやかな新緑の季節を迎えて」

校長 衛 藤 伸 介

入学式、始業式から約3週間が経ちました。鮮やかな木々の新緑とともに大型連休も始まり、中学生も大人も、少し一息つける時間になるかと思えます。この3週間の馬宮中学校の生徒の様子、先生方の姿は、保護者・地域の人のもとより、馬宮中のことを知らない誰かに見せて自慢したくなるくらい、素敵でした。

1年生の教室を訪れると、「学ぶことが楽しい！」という熱量を感じます。目を輝かせて、聞いたり話したりする姿を毎日目にします。2年生は、学校の中堅学年として目標をもって頑張ろうとする姿が見られます。先輩となり、後輩の手本となるよう気持ちを高めている人も多いのではないのでしょうか。そして、中学校の「顔」と言われる3年生は、安心して学校を任せられる頼りがいを感じています。さすが、3年生です。

私が本校に赴任してから感じていることは、「〇〇をなさい」「〇〇禁止」など、先生から生徒への強い指導が少ないということです。その代わりに、生徒に「どうしたいのか」や「どう思うのか」を尋ねる場面をよく目にします。先生が生徒を信頼し、生徒の自主性を重んじる雰囲気がよく伝わってきます。

本校の教育目標の一つに「自己の創造」があります。自分の頭で考えて行動しないと世の中に出たときに困ることがあります。いつも指示された通りに動いていると、その時はよいのですが、いざ、独り立ちしたときに途方にくらってしまいます。ですから今のうちから、考えて行動する癖をつけておいた方がよいですし、失敗してもその経験が学びのチャンスとなります。

普段の学習においては、テストに向けて知識を暗記することももちろん大切だと思いますが、学んだ内容について自ら振り返ったり友達と話し合ったりして答えを見つけていくという経験は社会に出たときに必ず役立ちます。

皆さんの前には、無限の未来が広がっています。将来よりよく生きていくために、自分から学んで考え、積極的に行動できる力をさらに身に付けていてもらいたいと願っています。

最後になりますが、馬宮中学校には、大型連休明けも生徒の皆さんが活躍したり楽しんだりできる様々な活動があります。少し休んで、また元気に登校してきてください。